

# 【 卓 球 】

## 1 参加規定

### (1) 団体戦

各県男女3チームとする。(選手8名以内、監督1名で編成)

※ 必要最低選手数 6名(全校生徒が卓球部の場合は4名)

※ 監督の他にアドバイザーとして、学校の場合は、出場校の教職員(部活動指導員含む)または校長の承認を得た外部指導者(コーチ)1名のベンチ入りを認める。地域クラブ活動の場合は、その構成員1名(20歳以上の成人)のベンチ入りを認める。

### (2) 個人戦

各県男女上位10名とする。

※ アドバイザーとして、選手1名につき1名のベンチ入りを認める。但し、校長、教職員、生徒、校長の承認を得た外部指導者(コーチ)のいずれかとする。地域クラブ活動の場合は、その構成員1名(選手もしくは20歳以上の成人)のベンチ入りを認める。

## 2 競技規則

(1) 現行の日本卓球協会が制定したルールによる。

(2) 試合球は40mm、ホワイトボール(硬式認定球)とする。

(3) ユニフォームは、JTAA(日本卓球協会公認)のマークの入っているユニフォームを着用する。

(4) ゼッケン

① 出場選手は、ユニフォームの背部に、白布に選手名(姓)・県名・学校名またはチーム名を記入したゼッケンを必ずつけて出場する。  
ただし、同姓の場合は名を1字だけ付け加える。

② ゼッケンは、日本卓球協会交付のものでもよい。

(5) 選手、監督、アドバイザーに変更がある場合は、受付で「変更届」を提出すること。団体戦・個人戦とも、変更届の受付は第1日目の10:30までとする。

|        |        |
|--------|--------|
| 25cm   |        |
| 選手名(姓) | 12.5cm |
| 県 名    | 4cm    |
| チーム名   | 6cm    |

## 3 競技方法

### (1) 試合日程

<第1日目>

- ① 11:30～ 団体戦予選リーグ(5番まで)
- ② 終了後 団体戦決勝トーナメント1回戦(3点先取)

<第2日目>

- ① 9:00～ 団体戦決勝トーナメント準決勝・決勝及び代表決定戦(3点先取)
- ② 12:00～(予定)個人戦

(2) 団体戦

- ① 3チームずつのW組、X組、Y組、Z組の4リーグに分けて予選を行う。
- ② 各リーグに同県チームが入らないように抽選し、試合順序は次のとおりとする

|    | (Ⅰ) | (Ⅱ) | (Ⅲ) |
|----|-----|-----|-----|
| W組 | A 1 | B 2 | C 3 |
| X組 | B 1 | C 2 | D 3 |
| Y組 | C 1 | D 2 | A 3 |
| Z組 | D 1 | A 2 | B 3 |

○試合順序

第1試合 (Ⅱ)－(Ⅲ)

第2試合 (Ⅰ)－(Ⅱ)・(Ⅲ)の敗者

第3試合 (Ⅰ)－(Ⅱ)・(Ⅲ)の勝者

- ③ 予選リーグ終了後、各リーグの1位・2位チームは、決勝トーナメントへ進出する。

(1日目は、1回戦まで行う。)

(ア) 各リーグの1位チームから抽選する。

※ 勝ち上がりの多い県から抽選する。(同数の場合はジャンケン)

※ 同県のチームは、左右に分ける

(イ) 各リーグの2位チームは、次のことに考慮して抽選する。

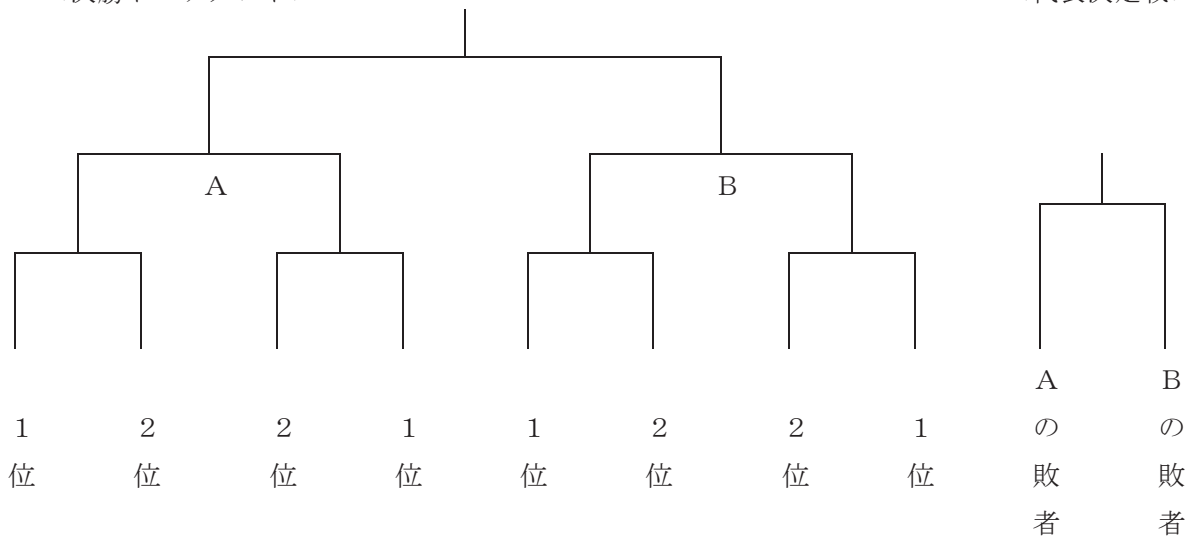
※ 1回戦での同県対戦は避ける。

※ 1回戦での同リーグ対戦は避ける。

- ④ 2日目は、決勝トーナメント準決勝より始め、決勝及び代表決定戦を行う。

<決勝トーナメント>

<代表決定戦>



- ⑤ 4シングルス・1ダブルスで、3番目にダブルスをおく。

- ⑥ 予選リーグはすべて5番まで行い、5試合すべての勝敗をポイントとして有効とする。

決勝トーナメント・代表決定戦の試合は3点先取法とする。

- ⑦ シングルスとダブルスは重複できない。

(3) 個人戦

シングルスのみとし、トーナメント方式による。